

◆「評価」[**ランクⅠ、ランクⅠ'、ランクⅡ**] は、本試験に於ける合格圏内相当とする。その他、ランクⅡ'以下(Ⅱ'、Ⅲ、Ⅲ')は減点累計及び大減点(⚡⚡⚡)項目数より判定とする。(⚡⚡中減点 ⚡小減点)

※ 本評価については、本試験におけるランク評価の目安であり、直接は関係ありません

失格項目		減点	
(0)法規違反 法規違反 又は 重大な不適合 提出時に 自己チェック※	□1面以上の未完成【1・各階平面図・断面図・面積表/計画の要点のいずれかが欠落】 →答案用紙Ⅱ記述設問の回答又はイメージ図が1以上欠落している場合はランクⅢ	Ⅳ=失格	
	□階数違反【指定された階でない】※指定が無い場合は、各高さ制限での判断 +基準階総面積÷(建築面積-上部空間)+2階超(Ⅳ) →6階建:基準階の根拠が補足説明ない場合 Ⅱ(5階の全体的な出来次第で合格可能性有)		
	□建蔽率違反【1344 m ² 超】		
	□床面積合計違反【 m ² 未満たは 6720 m ² 超】 →(2)要求室面積合計×2を超える場合はランクⅢ 自主的な室を除き6000m ² 以内		
	□上下階の不一致【構造躯体・階段・EVが不整合/屋根が未記入等】 →構造に支障が無い不整合は⚡⚡⚡×2、断面図向き、平面図描く場所間違い、敷地図等の印字に従わない間違いはⅣ		
	□各高さ制限に違反する。→要確認:屋上塔屋及び設備、バルコニー等(建築面積1/8以内の緩和は補足等で確認できなければⅢ)		
	□地上に通ずる2以上の直通階段(基準法など適合)を設けていない+重複(避難)距離違反		
	□要求室の室を2室以上欠落 1室及び床面積適宜の室を1室以上欠落はランクⅢ		
	□空調設備		□全体・吹抜けや大空間(天力セCH3.5m程度まで)+セントラル以外換気要
	□DS		□位置/サイズ 室へのダクト経路(天井引きはふところ確認)、AHU・最上階外調機からの経路・機械排煙・消防設備等→⚡⚡3つ以上⚡⚡⚡
□ポンプ室	□位置【給水ポンプ、屋内消火栓がある場合、消火ポンプ】		
□PS	□位置【水回り下部・トイレ通気用・屋内消火栓用、給水(給湯)】		
□電気室	□位置 建築物の1階又は屋上、敷地のいずれかにキュービクル設置		
□EPS	□有効2.5m×1.5m以上→Ⅲ(管理又は廊下からメンテナンスの場合間口2.5m×奥行以上) 横引→Ⅲ(同一グリッド内⚡⚡⚡)		
□欠落	□PSが1箇所もない(屋上まで1か所以上、排水地上までの経路不明⚡⚡⚡) □EPSが1箇所もない		
□防火区画	□防火設備の表記→Ⅳ1500m ² 区画→特定防火設備 壁区画→防火設備 著しく過剰な配置で安全性に配慮等の補足が無い場合→Ⅲ		
□重複距離	□避難経路の表記→Ⅳ※内装不燃仕上り疑念のある仕様等は緩和無 誘導灯位置で分岐over ⚡⚡⚡無意重複25mOKでも⚡		
□その他	□非常用進入口または代替進入口(3階以上)があるか(3階吹抜け部分等は不要)		
□断面図位置等の記載すべき条件の違反→Ⅲ 特記事項に記載している内容の図示	⚡⚡⚡×		
□敷地配置計画、各平面図、断面図等の不整合(スラブ下げや階高等、室名や各形状等)	ランクⅣ		
□階高/天井高【設備配管、配線・梁せいを考慮した寸法】 陸立柱(PC梁上部→Ⅳ・設置の補足無→Ⅲ) 一部別構造壁式等(構造の補足無→Ⅲ)	⚡⚡⚡×		
□基礎・梁・スラブ・壁・柱	□形式・サイズ 耐圧版、基礎梁、スラブ厚、壁厚、梁幅、梁せい、柱のサイズチェック小→Ⅲ 過大→⚡⚡		
□地盤改良	※必要な場合で断面図(答案用紙Ⅱで出題されている場合)記載無しはⅣ		
□特定天井仕様	※必要な場合 任意で計画可		
□屋上設備スペース □太陽光パネル □屋上緑化 □塔屋	⚡⚡×		
□計画上留意した事項及び計画上工夫した点を全て補足しているか	⚡⚡× 面		
□文字が読み難い(大きさ、殴り書き)(落書きのような植栽や什器、相手に理解してもらおうとしない文字等→Ⅲ)	⚡×		
□転落防止手摺H1100 □植栽(樹木1箇所) □舗装(歩車分離や各動線が判別出来る境界線があるか→Ⅲ)	⚡×		

各階平面図		減点	
(1)空間構成	□道路斜線制限等の周辺環境を考慮した配置か ※無理な配置のチェック	⚡⚡	
	□建物配置 (1)空間構成 ①	□境界線からの離隔距離を心々2m以上且つ条件を満たしたか (免震ALL+1m)(商業地域等1m以上)	⚡⚡
	□アプローチ (1)空間構成 ②	□敷地を有効活用しているか(意味のない空地は無いか(アプローチのオープンスペース等はOK)) ※無駄のチェック	⚡⚡
	□延焼ライン (1)空間構成 ①	□課題条件を満たしているか(must) 敷地周辺環境に配慮(サブエントランス計画等)していない(Best)⚡⚡⚡	ランクⅢ
	□敷地内通路 (1)空間構成 ①	□周辺から主出入口までの歩行動線が最も多い経路(駅などから)は歩車分離されているか	⚡⚡⚡
	□要求室の計画 (1)空間構成 ③	□車いす使用者用駐車場からエントランス(又はサブエントランス)まで近接しているか(程度目安:敷地長辺+2階 ⚡⚡⚡ 敷地短辺+10階 ⚡⚡)	⚡⚡⚡
	□延焼ライン (1)空間構成 ①	□敷地から主出入口の段差は2cm以下となるよう処理しているか。	⚡⚡⚡
	□延焼ライン及び防火設備の明示を2箇所以上記載漏れや誤りがある。	ランクⅢ	
	□延焼ライン及び防火設備の明示を1箇所記載漏れがある。	⚡⚡⚡	
	□避難上必要な通路の経路及び最小幅員の表記 ※外部への二方向避難経路が無い→Ⅲ	⚡⚡	
□要求室の計画 (1)空間構成 ③	□2方向避難共に出入口が道路又は避難施設(公園)に面する場合は不要	⚡⚡	
□室の指定された床面積範囲と著しく異なる。※1室ごとに減点	⚡⚡⚡		
□面積適宜の人数換算等が著しく不適切。※1室ごとに減点	⚡⚡		
□要求室に明記していないその他の必要な室(ゴミ保管庫・倉庫など)を1室も計画していない。	⚡⚡⚡		
□室の形状【主要な室の短辺3m未満又は辺長比3以上、歪な形状等】2室以上は	⚡⚡		
□室内に利用に支障がある障害物(柱)は無い	⚡⚡		
□特記事項 1室欠落 ⚡⚡ →2室欠落 ⚡⚡⚡ →3室以上でⅢ	⚡⚡⚡		
□自然光、通風等のパッシブ&アクティブ技術を用いた計画になっているか →どちらも計画無しはⅢ →2以下⚡⚡	⚡⚡⚡		
□利用者が全てバリアフリー設置しているか(片引戸+手摺付き便器+オストメイト+手洗)→1か所(誘導は各階)も無いⅢ 利用者階全てEV設置しているか→Ⅲ 室内から出入りする利用者の出入口全ての段差2cm以下か又車いす使用者の通路が進行方向とは別の勾配が無いか→⚡⚡必要な車いす使用者席等があるか→⚡⚡ 利用者廊下及び通路の幅員1.8m以上か→⚡⚡ EVかこ内法1.6m×1.35m以上か→⚡⚡⚡ 他 ⚡ 主出入口及び出入口の有効幅 明らかに不足→Ⅲ	⚡⚡⚡		
□EV乗降ロープを単独または廊下延長の場合廊下+1m以上か→⚡⚡ □高齢、乳幼児、外国人等、本施設の多様な利用者に配慮した計画か→⚡⚡	⚡⚡		
□部門ごとにまとめたゾーニングか それぞれの室・スペースへの動線に廊下や通路が無い→Ⅲ	⚡⚡⚡		
→フロアを別にした場合で、EV等に近接して計画及び補足がある場合は⚡ 減点	⚡⚡⚡		
□管理部門は利用者が無断で立ち入らないように計画しているか	⚡⚡⚡		
→管理用廊下等と利用者ゾーンを扉で区画していない等 管理EV、階段で判定	⚡⚡⚡		
□各階の平面形状及び建物の断面形状が著しくいびつでないか	ランクⅢ		
□階段 □仕様(踏面、幅員、蹴上高さ等)階高が異なる場合の回転数や仕様補足無し→Ⅲ 階高と不一致→Ⅲ	⚡⚡⚡		
□EV □管理用EV(必要な計画の場合)を設置しているか→Ⅲ 利EV共有OK 人荷用のかごサイズか	⚡⚡⚡		
□廊下 □2か所の階段迄の避難経路が明確か(講堂等の収容人数が多い室も通路幅1.2m+2方向の出入口→⚡⚡ 避難経路有効幅1.2m以上か→Ⅲ)	⚡⚡⚡		
□形状【有効幅員が過少又は過大(要求室の大きさと比べて)凹凸(一部の廊下が意味のないホール形状)等】	⚡⚡		
□要求された施設の欠落※駐車場等一台欠落した場合も含む	ランクⅢ		
□駐車場 □HP有効幅3.5m確保 HP⇄リコア配慮(距離又は仕様) SP⇄管コア(メンテ配慮)	⚡⚡⚡		
□駐車場からの通路(駐車場利用者以外の歩行者も使用は1.8m以上)	⚡⚡⚡		
□車出入口【交差点・横断歩道から5m、バス停から10m】離す	ランクⅢ		
□切り開きの数や幅 車路5m以上(且つ車長以上か→⚡⚡)	ランクⅢ		
□駐輪場 □サイズ【駐輪スペース・通路】 □台数が不足していないか	⚡⚡⚡		
□設置階 □指定された設置階か→Ⅲ 利用者に適した平面位置か→⚡⚡階か→⚡⚡⚡	⚡⚡⚡		
□特記事項に記載ある什器や植栽を記載しているか	⚡⚡		

各階平面図及び断面図		減点	
構造計画Ⅰ	(1)空間構成 ①	□6m~9m(10m梁せい問題無ければOK) スパンで計画しているか 柱一か所にPC梁を2架けた等⚡⚡⚡×2 建築面積外周部にPC梁を架けた ⚡⚡⚡×2上階のみ外壁OK	⚡⚡⚡
	(3)構造計画	□上記以外のスパンを平屋のみ計画している場合は減点無し(4.5~5.10~11 ⚡⚡)	⚡⚡⚡
(4)設備計画 ① 計画全般	□架構	□グリッド面積が36~60m ² 以内で計画しているか (補強補足の65m ² 以内は⚡⚡)	⚡⚡⚡
	□空調設備	□6m×6mを最小限必要個所で計画している場合は減点無し	⚡⚡⚡
	□DS	□全体・吹抜けや大空間(天力セCH3.5m程度まで)+セントラル以外換気要	⚡⚡⚡
	□ポンプ室	□位置【給水ポンプ、屋内消火栓がある場合、消火ポンプ】	⚡⚡
	□PS	□位置【水回り下部・トイレ通気用・屋内消火栓用、給水(給湯)】	⚡⚡
	□電気室	□位置 建築物の1階又は屋上、敷地のいずれかにキュービクル設置	⚡⚡⚡
	□EPS	□有効2.5m×1.5m以上→Ⅲ(管理又は廊下からメンテナンスの場合間口2.5m×奥行以上) 横引→Ⅲ(同一グリッド内⚡⚡⚡)	⚡⚡⚡
	□欠落	□PSが1箇所もない(屋上まで1か所以上、排水地上までの経路不明⚡⚡⚡) □EPSが1箇所もない	ランクⅣ
	□防火区画	□防火設備の表記→Ⅳ1500m ² 区画→特定防火設備 壁区画→防火設備 著しく過剰な配置で安全性に配慮等の補足が無い場合→Ⅲ	⚡⚡⚡
	□重複距離	□避難経路の表記→Ⅳ※内装不燃仕上り疑念のある仕様等は緩和無 誘導灯位置で分岐over ⚡⚡⚡無意重複25mOKでも⚡	⚡⚡×
□その他	□非常用進入口または代替進入口(3階以上)があるか(3階吹抜け部分等は不要)	⚡⚡×	
□断面図位置等の記載すべき条件の違反→Ⅲ 特記事項に記載している内容の図示	⚡⚡⚡×		
□敷地配置計画、各平面図、断面図等の不整合(スラブ下げや階高等、室名や各形状等)	ランクⅣ		
□階高/天井高【設備配管、配線・梁せいを考慮した寸法】 陸立柱(PC梁上部→Ⅳ・設置の補足無→Ⅲ) 一部別構造壁式等(構造の補足無→Ⅲ)	⚡⚡⚡×		
□基礎・梁・スラブ・壁・柱	□形式・サイズ 耐圧版、基礎梁、スラブ厚、壁厚、梁幅、梁せい、柱のサイズチェック小→Ⅲ 過大→⚡⚡	⚡⚡	
□地盤改良	※必要な場合で断面図(答案用紙Ⅱで出題されている場合)記載無しはⅣ	⚡⚡⚡	
□特定天井仕様	※必要な場合 任意で計画可	⚡⚡⚡	
□屋上設備スペース □太陽光パネル □屋上緑化 □塔屋	⚡⚡×		
□計画上留意した事項及び計画上工夫した点を全て補足しているか	⚡⚡× 面		
□文字が読み難い(大きさ、殴り書き)(落書きのような植栽や什器、相手に理解してもらおうとしない文字等→Ⅲ)	⚡×		
□転落防止手摺H1100 □植栽(樹木1箇所) □舗装(歩車分離や各動線が判別出来る境界線があるか→Ⅲ)	⚡×		

面積表		減点
(0)法規違反 ※	□算定式 □算定結果	⚡⚡⚡×
■各階床面積・建築面積	□算定根拠となる数値が図面のいずれにも寸法が記載されていない(吹抜け、ピロティ等)	⚡⚡×
	□計算等の誤り	⚡⚡×

計画の要点(答案用紙Ⅱ)		減点
■文字	□誤字・略字なし □丁寧さ・読みやすさ(落書きのようなイメージ図、相手に理解してもらおうとしない文字等→Ⅲ)	⚡×
■イメージ図	□全体が判る俯瞰したイメージとなっているか	⚡⚡×
	□問いに対する回答を補足説明する内容となっているか	⚡⚡×
■文章(2)建築計画	□問いに対して、問われている内容について回答しているか 質問されている事を答えていない ⚡⚡	⚡⚡×
(3)構造計画	□問いに対して 用いた計画的手法を記載しているか	⚡⚡×
(1) 課題で特に重視している点	□問いに対して、用いた計画手法の理由(考慮したこと)や効果を具体的に示しているか	⚡⚡×
(4)設備計画	□簡潔な文章となっているか	⚡×
(2) 課題で特に重視している点	□解答欄の1/4以上が空白になっていないか	⚡×

◆小計 各項目	(1)空間構成				(2)建築計画			(3)構造計画		(4)設備計画	
	①	②	③	④	①	②	③	①	②	①	②
足切点											
小減点(⚡) ×10→ランクⅡ'											
中減点(⚡⚡) ×8→ランクⅡ''											
大減点(⚡⚡⚡) ×3→ランクⅢ											

総評	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">秘</div>
⚡ ×15→ランクⅡ'	本採点方式は、当社独自の採点システムを用いて、各受講生の合格するための知識及び技術状況を自視確認するために作成しております。本試験の採点基準とは一致しない事を予めご了承ください。
⚡⚡ ×12→ランクⅡ''	
⚡⚡⚡ ×8→ランクⅢ	